

【総合環境理工学部】『教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）』

ディプロマ・ポリシーを達成するため、次のような方針で教育課程を編成する。

【教育課程編成方針】

- ①数学や理科などの理工系の基礎を確実に理解させる教育を行います。
- ②応用力や創造性を重視した専門教育を行います。
- ③地球規模の環境問題を科学技術の観点から考察できる専門教育を行います。
- ④数理・データサイエンス・AI に関する知識や技術等を身に付け、専門分野に活用できる教育を行います。
- ⑤分野横断教育を強化し、専門性の異なる他者と共創できる能力を育む教育を行います。
- ⑥専門的な実験、実習、演習科目を通じた、自らの力で課題を発見し、その解決法を提案できる能力を育成します。
- ⑦個人及びグループで行う実験と実習、報告書作成やプレゼンテーションの実施により、科学技術実践能力を育成します。
- ⑧日常及び専門分野における英語活用能力を高める教育と学生が留学しやすい制度の整備を行います。
- ⑨アクティブ・ラーニングや PBL を通じて、学生が主体的かつ継続的に学習できる能力を育成します。
- ⑩地域の自然，社会，環境，産業，文化など教養を深める教育を行います。
- ⑪社会における科学技術の役割，科学技術者の責任と倫理を理解させる教育を行います。